

**大学院海洋科学技術研究科 博士前期課程**  
**「海洋環境・エネルギー専門職育成国際コース」**  
**学生(外国人留学生を除く)募集要項**

〈コースの目的と概要〉

「環境・エネルギー」分野における日中韓三国の大学間交流プログラムとして、海洋環境の保全・修復と関連するエネルギーの効率利用について、その持続的利用を具現化するための人材の育成を目的とする。また、海洋開発・利用におけるそれぞれの分野においての実践的教育を日中韓三国出身の学生が共に受けることで、将来にわたって東アジアのグローバル化に貢献する高度専門職業人としての人的な基盤の一翼を形成することを目的とする。

本コースでは、中国、韓国の協定締結校\*からの留学生が参加する国際的環境の中、次世代を担う人材を育成するため、日本人学生の積極的参加を期待し募集を行うものである。

\*協定締結校

中国	6大学	中国海洋大学、上海海洋大学、浙江海洋大学、大連海事大学、 大連海洋大学、上海海事大学
韓国	2大学	釜慶大学校、韓国海洋大学校

〈カリキュラムの特徴〉

国際的に通用する高度専門職業人養成を目的とし、より実践に即したカリキュラムで構成され、特に下記の演習・実習等を重視しているのが特色である。また、これらについては、中国、韓国の学生との協働作業が多いため、コミュニケーションの主体は英語となる。

- ・ケース演習            社会で実際に起こった実例について、討論や自らの調査を通して、仮説分析的な思考および洞察に基づいた判断を行う技術を修得する。
- ・実務実習            コースで学習した知識を以って、企業等でのインターンシップを通じ、実践的な能力を養う。

1. 募集専攻及び募集人員

博士前期課程全専攻から若干名

2. 出願資格

令和6年10月1日または令和7年4月1日に博士前期課程に入学した学生のうち、外国人留学生を除く学生。

3. 出願手続

志望理由書、指導教員の推薦書を令和7年4月23日(水)までに、品川キャンパス国際・教学支援課管理係へ、指導教員を通じて提出すること。

※参加希望者は、履修登録期間終了までに一度担当係へ相談することを推奨する。

#### 4. 選抜方法

グローバルプロジェクト推進部門会議にて書面及び面接審査等を実施し、総合的に行う。

#### 5. 試験日程

試験実施対象者については、指導教員を通じて個別に連絡する。

#### 6. 合否発表

後日、志願者に書面にて通知する。

#### 7. 修了単位

海洋環境・エネルギー専門職育成国際コースの授業科目及び修了に必要な単位は別表のとおり。本コース修了に必要なすべての単位を修得し、かつ海洋科学技術研究科博士前期課程を修了した者には、本コースの修了認定を行い、修了証書を授与する。

#### 8. 個人情報の取扱い

大学に提出した書類は返却しない。個人を特定できないように処理した上で、各種統計調査等に使用する場合がある。

#### 9. 注意事項

本コース学生以外の学生が、本コース規定の単位を修得した後にコース学生として認定申請した場合について、本コース学生と認めない。

#### 10. 国際会議、海外の学会等での発表に係る旅費(研究科長裁量経費(学生渡航支援等経費))の援助

本コース合格者のうち、別途研究科で募集する研究課長裁量経費(学生渡航支援等経費)に申請した者を対象に、国際会議、海外の学会等での発表にかかる旅費(交通費、宿泊費、シンポジウム参加費等)について、優先して審査、選考する。

#### 11. 連絡先

東京海洋大学国際・教学支援課

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 TEL 03-5463-0418

(参考) <http://www.g.kaiyodai.ac.jp/main/JCK-program/ja/index.html>

(別表)「海洋環境・エネルギー専門職育成国際コース」の修了に必要な授業科目及び単位

科目区分	開講する専攻	授業科目	単位数
選択科目	海洋生命科学専攻	水圏養殖学	2
		水族感染症学	2
		分子環境毒性学	2
		遺伝生化学	2
	食機能保全科学専攻	食品熱工学	2
		食品プロセス工学	2
		食品冷凍工学	2
		食品加工技術論	2
	海洋環境保全学専攻	環境微生物学	2
		環境情報解析学	2
		沿岸環境学	2
		海洋環境機械学	2
	海洋管理政策学専攻	海洋環境政策論	2
		海洋リテラシー論	2
		生態系管理学	2
		生物資源管理学	2
		生物資源解析学	2
	海洋システム工学専攻	蒸気動力工学	2
		内燃機関システム工学	2
		空気調和・冷凍工学	2
		エネルギー変換工学	2
		大気環境計測学	2
	海運ロジスティクス専攻	航路計画論	2
		移動体通信システム	2
		国際輸送セキュリティ工学	2
		サプライ・チェーン最適化工学	2
		交通計画論	2
		流通設計論	2
国際交通論		2	
環境解析論		2	
環境予測論		2	
海洋人類学		2	

科目区分		開講する専攻	授業科目	単位数
選択必修 科目	実務・調査 実習科目	研究科共通科目	環境・エネルギー実務実習	1
			高度専門キャリア形成論	1
		海洋環境保全学専攻	海洋観測演習	1
			沿岸観測実習	1
		海洋生命科学専攻	乗船漁業調査特別実習	1
		海洋管理政策学専攻	海洋 ESD 実習	1
	海運ロジスティクス専攻	海洋テクノロジー学実験	2	
	学外連携・ 演習科目	研究科共通科目	環境保全技術ケース演習	2
		海洋資源環境学専攻	応用海洋数理工学	2
			沿岸生産環境学	2
			海洋生産環境工学	2
		海洋システム工学専攻	水中探査機器工学	2
水中音響工学			2	

所属専攻の修了要件を満たし、かつ、本コースの「選択科目」から6単位以上、「選択必修科目」の実務・調査実習科目から1単位以上、同学外連携・演習科目から6単位以上を修得する必要があります。このコースで修得した単位は所属専攻の修了要件に含めることができます。

<志望理由書Wordファイルは、WebサイトからDLまたは担当者へお問い合わせください。>

[志望理由書・推薦書]

令和7年 月 日

「海洋環境・エネルギー専門職育成国際コース」志望理由書

所属専攻名	
学籍番号・氏名	
指導教員氏名	
志望理由	

(切り取らないでください)

令和7年 月 日

推 薦 書

グローバルプロジェクト推進部門長 殿

推薦者\*

所属・役職 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

上記の学生を「海洋環境・エネルギー専門職育成国際コース」に推薦します。

推薦理由・人物評価等

\*推薦者は原則志望学生の指導教員として下さい。